

平成28年度新里紫桐会居宅介護支援事業所事業報告

1 事業の概要

事業所は、利用者が在宅において、可能な限りその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況やその置かれている環境に配慮し、利用者の選択に基づいた適切な保健、高齢支援サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう支援を行った。

また、利用者とその家族との深い信頼関係を構築するとともに利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、提供されるサービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に偏ることのないよう、公正中立なサービス提供に努めた。

2 事業の実施状況

(1) 居宅サービス計画の支援

- ① 利用者の居宅を訪問し、利用者および家族に面談して情報を収集し、解決すべき課題の把握（アセスメント）に努めた。
- ② 指定居宅サービス事業所等に関するサービス内容、利用料等の情報を提供し、サービスの選択をしていただいた。
- ③ 利用者の目標とする生活に対し、提供されるサービスの内容、その達成時期、サービスを提供する上での留意点を盛り込んだ居宅サービス計画の原案作成を行い、説明と同意をいただいた。

(2) 経過観察・再評価

- ① 毎月の訪問で経過観察（モニタリング）をもち記録をした。定期的な評価を行い、状態の変化に応じて居宅サービス計画変更、要介護区分変更申請等必要な支援を行った。

(3) 秘密保持・個人情報

- ① サービスを提供する上で、サービス担当者会議等において文書で予め利用者及び家族の同意を得ない限り個人情報を用いることはなかった。また、秘密保持を徹底した。

(4) 連絡・調整

- ① サービス担当者会議において、地域の保健・医療、サービス提供事業者等各関係機関との連携を図り、より良いサービスの提供に努めた。
- ② 利用者の入退院時、情報共有シートを活用し医療とのスムーズな連携に努めた。
- ③ 居宅サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう、指定居宅事業所等との連絡調整を行った。

(5) 給付管理

- ① サービス計画の内容に基づき毎月給付管理票を作成し、岩手県国民健康保険団体連合会に提出した。

(6) その他

- ① 介護保険施設等への入所を希望した場合は、介護保険施設等の紹介その他の支援を行った。
- ② 研修会等へ参加し、ケアマネジメントの充実と質の向上に努めた。
- ③ 台風等の自然災害時においては、利用者の安否確認に努めた。
- ④ 事業所内での情報共有をもって、利用者への継続した支援が出来るよう努めた。

3 利用者の状況

(1) ケアプラン作成件数

	登録者数	ケアプラン作成数	介護予防プラン作成数
4月	76	60	4
5月	75	59	3
6月	76	63	3
7月	75	67	3
8月	70	59	4
9月	69	63	4
10月	71	62	5
11月	71	60	6
12月	68	58	5
1月	68	58	5
2月	74	58	4
3月	74	61	4
合計	867	728	50

(2) 認定調査件数

	更 新	区分変更	計
要介護	62	7	69
要支援	4	0	4
計	66	7	73

(3) 会議・ケアマネジメント部会・各種研修会

	開催数	参加述べ人数
ケアマネジメント部会	6回	9人
各種外部研修会	10回	12人
内部研修会・委員会等	14回	14人
会 議	69回	69人